

田村先生講演&意見交換会

3学年合同で実施した講演会の様子をレポート！

グロ探通信

10号

★編集★
グロ探通信班



生徒に語りかける、田村学教授

夏休みも終わり、学校にも再び活気が戻ってきた9月1日、グローバル探究科(G探)の1年生から3年生までが全員集合し、國學院大學の田村学教授講演会を聞きました！

田村先生は、生徒に多く語り掛けながら相互のやり取りで核心に触れていきます。時代の大きな変化、それに伴う学びの質の変化。学校で今学んでいることが社会に出たときに自分を支える力になること。探究活動はその力のもとになること。生徒たちも真剣な表情で話を聞いていました。

3時間目は、3年生の代表

2名による、3年間の探究活動の振り返り発表です。まず登壇したのは、徳田天音さん(香北中出身)。1年次に実施した「山田まんの宣伝方法を考える探究」と、2〜3年次で取り組んだ「地域に恩返しをするための災害弱者マークの考案」についての探究を話してくれました。いつも通り、パッションにあふれた生き生きとしたプレゼンは、聴衆の心をつかんでいました。

2人目は、小松春人くん(大柘中出身)。小松くんは、1年次に実施した「音楽と勉強の関連性を考える探究」と、2〜3年次の「いざなぎ流の後継者を増やすための探究」について発表。多くの写真と共に、飾らないけれど丁寧な言葉で話してくれました。

それぞれの発表の後には質疑応答が。3年生同士の場慣れしたやりとりと、下級生からの少し緊張気味の質問。どちらもよい空気を醸し出していました。

発表の後は、短い時間で



縦割り班で意見交換中！

すが縦割り少人数班での意見交換です。3年生は探究の良さや反省を、下級生はその意見をこれからの自分の探究にどう生かすかを、ぎゅぐゅと話し合いました。1班3〜4人の少人数での話だったので、どの班も笑顔が交えながら意見交換ができていたように思います。

短い時間ではありましたが、生徒にとつて気付きや学びのある時間になりました。1、2年生の皆さんは、夏休みから本格的に探究活動に入っていますね。今後有意欲的に取り組んでいきましょう。担当教員一同も、精一杯サポートしていきます！

生徒の声



1年 松永真衣香さん

(鏡野中出身)

講演では「インプット・アウトプット」の話と、「伝えることに関連性を交える」の2つが心に残っています。インプットとアウトプットを勉強に活用すると理解度が上がるし、相手と意見交換をする際は聞いた話を関連付けることで良い質問が生まれると感じます。

また、3年生からは「コネクションがあるとより専門的なことが学べる」とアドバイスをもらいました。確かにこの夏、自分たちの探究に沿ったイベントに参加したところ、これまでにない知識が学べました。今後もイベント参加などのインプットはもちろん、疑問を積極的にするなどのアウトプットを意識して頑張っていこうと思います。

3年 小松春人さん

(大柘中出身)

インプットも重要だと思いが、自分の考えを自分の言葉で表現するアウトプットも大切だと思う。後輩たちにも、うまく出力して探究を進めてほしい。

今回の発表は全体的にはわかりやすくでき、個性も出せた。ただ探究の紹介や説明がぎゅぐゅりすぎてしまった。反省点しか話していなかった気がする。楽しかったことなども言うべきだった。

2年 日浦恭介くん

(大柘中出身)

田村先生の「アウトプット

インスタ
みてね！



YAMADA_GLOBAL